

エコアクション 21

環境経営レポート

令和5年度版

(令和 5年 4月 1 日～令和 6年 3月31日)

菅原産業株式会社

令和 6年 12月 6日作成

環境経営方針

● 企業理念

環境問題は、事業を通じて取り組まなければならない重要課題であります。

事業内、並びに車両運行者への環境に対する啓蒙・提案・整備を行い、二酸化炭素排出量の削減や燃料消費の向上を促し、廃棄物排出量や水使用量の削減と廃棄物の分別・リサイクルに全従業員で取り組み、地球環境の保全に配慮して行動します。

● 環境方針

当社は、「地球環境を、守ろう!!」をスローガンに、環境との共生、調和を最重点課題として認識し、金属屑類等回収販売、産業廃棄物収集運搬業・中間処理事業を通じて環境負荷の低減に配慮した事業活動に取り組みます。

1. 環境経営システムを構築し、重点的なテーマとして、以下の活動に取り組みます。

- (1) 重機や車輛等のエコドライブ・アイドリングストップや事業所内の節電により、化石燃料・電力消費量の軽減に努め、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- (2) 金属屑類等の再資源化・回収率の向上を積極的に努めます。
- (3) 事業所内で使用する水量の削減に努めます。
- (4) エコマーク製品等を優先的に使用し、グリーン購入に努めます。
- (5) 紙・段ボール類については、再生紙の利用と廃棄コピー用紙の裏面再利用。またリサイクルによりゴミ削減と資源の有効利用に努めます。
- (6) 運輸部門として燃料削減の為、帰り荷の確保や配達ルート最適化を図り効率的な配車に努めます。

2. 関係する環境関連法規を遵守します。

3. 環境経営の継続的な改善を誓約します。

平成 18 年 11 月 14 日 制定
平成 24 年 5 月 10 日 改定
令和 元 年 5 月 29 日 改定
令和 3 年 12 月 21 日 改定
令和 6 年 3 月 11 日 改定

菅 原 産 業 株 式 会 社

代表取締役 菅原 敬介

1. 事業の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

菅原産業 株式会社
代表取締役 菅原 敬介

(2) 所在地（サイト）

本社（総務部・金属部・部品課）
〒807-0813 福岡県北九州市八幡西区夕原町3番16号 TEL093-621-6636 FAX093-621-6657

運輸部・田川営業所
〒822-1406 福岡県田川郡香春町香春1642-1 TEL0947-32-7860 FAX0947-32-7861

運輸部・熊本営業所
〒861-4101 熊本県熊本市南区近見8丁目1380-1 TEL096-354-4452 FAX096-320-3051

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者：恒藤 拓哉
事務局担当者：恒藤 拓哉
連絡先：TEL093-621-6636 FAX093-621-6657
e-mail：finance@sugahara-sangyo.co.jp

(4) 事業年度 4月 ～ 3月

(5) 事業規模

	単位	令和3年	令和4年	令和5年
売上高	百万円	716	761	758
従業員数	人	46	42	37
床面積	m ²	2,545	2,545	2,545

(6) 事業内容

貨物自動車運送業、
金属屑類回収販売業、産業廃棄物収集運搬業・中間処理業

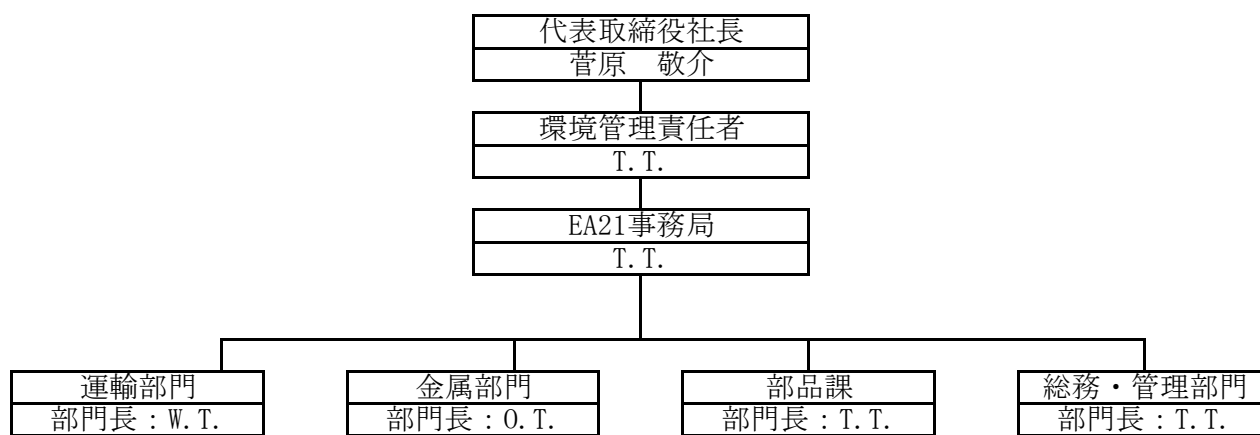
(7) 法人設立年月日

昭和24年12月29日

(8) 資本金

2,600万円

(8) 組織図、実施体制



役割分担

所属	役割・責任・権限
代表取締役社長	①環境管理責任者の任命。 ②環境方針の制定・改定。 ③環境への取組を実施する為の資源の準備。 ④EA21全体の取組状況の評価・見直し。
環境管理責任者	①環境経営システムの構築、実行及び維持。 ②社長に対し、取組結果の実施報告。
EA21事務局	①環境管理責任者を補佐し、構成員の全員参加によるEA21の運営改善を推進する。 ②EA21関連文書の作成、改廃、保管、伝達の業務を推進する。
部門長	①環境方針、自部門の環境目標、環境活動の部門全員への周知徹底。 ②自部門の環境目標、環境活動計画の達成と実績の把握。 ③自部門で発生した問題点の是正措置、予防処置を実施する。 ④自部門に関連する法令・法規等を順守する。 ⑤他部門と連携し、自部門の教育・訓練を実施する。
全従業員	①環境方針を理解し、環境への取組の重要性を認識し、行動する。

(9) 認証・登録範囲

全社・全組織・全活動

2. 産業廃棄物処理業及び運搬業における情報公表項目

(1) 許可内容

1)

産業廃棄物収集運搬業					許可項目												備考
都道府県 及び 政令都市	積替 保管		許可年月日 有効期限	許可番号	燃え 殻	汚 泥	廃 油	廃 プ ラ ス チ ッ ク 類	紙 く ず	木 く ず	織 維 く ず	金 属 く ず	ガ ラ ス く ず	が れ き 類	ダ ス ト 類	コ ン ク リ ー ト く ず	
	有	無															
福岡県		●	R4. 4. 19 ～R9. 4. 18	4000020995	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
熊本県		●	H24. 6. 13 ～R9. 6. 12	7801020995	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●

産業廃棄物処分業				許可項目										備考
都道府県 及び 政令都市	許可年月日 有効期限	許可番号	燃え殻	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず	がれき類	ダスト類	
北九州市	R4. 12. 19 ～R9. 12. 18	第07620020995号				●				●				

2) 古物商 許可番号 8560 (福岡県公安委員会)

(2) 運搬車両の種類と台数

[本社・金属部部門]

全6台

車 輛	t	台数
キャブオーバー	15	1
キャブオーバー	7	2
ダンプトラック	10	1
脱着装置付コンテナ専用車	4	2

[運輸部・田川営業所]

全19台

車 輛	t	台数
粉粒体運搬車	12	3
粉粒体運搬車 (トラクタ)	11～12	7
粉粒体運搬車 (フルトレーラ)	10～13	7
セミ・トラクター・ヘット	0	1
粉粒体運搬セミトレーラ	20	1

[運輸部・熊本営業所]

全13台

車 輛	t	台数
粉粒体運搬車	12	5
粉粒体運搬車 (トラクタ)	12	3
粉粒体運搬車 (フルトレーラ)	10	3
セミ・トラクター・ヘット	0	1
粉粒体運搬セミトレーラ	22	1

令和6年 3月31日現在

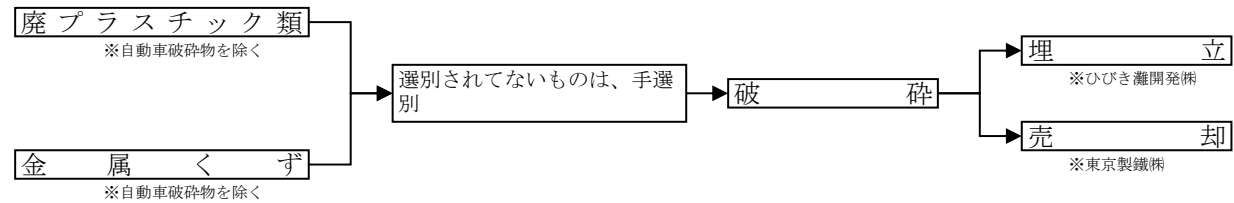
(3) 運輸部 運搬実績

- セメント粉粒体輸送業 153,930 t
- 産業廃棄物フライアッシュ輸送量 3,807 t

(4) 処理施設

施設の種類	破砕施設
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類、金属くず
設置場所	北九州市八幡西区夕原町3番1
設置年月日	平成14年12月19日
処理能力	廃プラスチック類：1日当り2.0t（8時間） 金属くず：1日当り3.0t（8時間）

処理フロー



(5) 産業廃棄物の処理実績

処理方法等		廃棄物等種類	処分方法等	令和03年度 処理量 t	令和04年度 処理量 t	令和05年度 処理量 t
収集運搬		(木くず)		0.0	0.0	0.0
		(廃ﾌﾟﾗ)		0.0	0.3	0.0
		(金属屑)		13.7	60.4	0.1
		(がれき)		0.0	6.3	0.0
収集運搬量合計				13.7	67.0	0.1
中間処理		(廃ﾌﾟﾗ)	(破砕)	0.02	0.34	0.00
		(金属屑)	(破砕)	15.05	60.43	0.13
うち再資源化等		(金属屑)	(破砕後鋼材原料化)	13.05	60.43	0.13
	再資源化等量小計			13.05	60.43	0.13
中間処理合計				15.07	60.77	0.13
中間処理後の 産業廃棄物	最終処分	(廃ﾌﾟﾗ)	(安定型最終処分場（委託）)	0.02	0.34	0.00
	再資源化等	(金属屑)	(鋼材原料として再生利用（売却）)	15.05	60.43	0.13
		再資源化等量小計			15.05	60.43
	中間処理後処分量合計				15.07	60.77

(6) 料金

随時、見積もります。

3. 環境目標とその実績

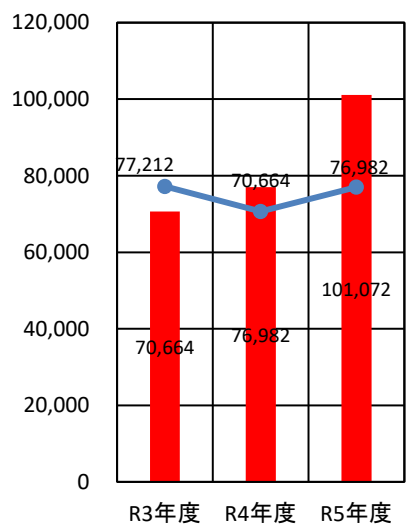
(1) 目標の達成状況

当社の過去3年の目標と実績は以下の通りです。

【 本社地区 】

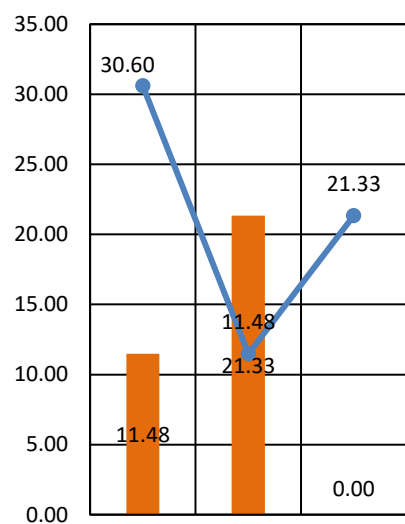
		単位		R3年度	R4年度	R5年度
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	目標	77,212	70,664	76,982
			実績	70,664	76,982	101,072
2	廃棄物排出量の削減	t	目標	30.60	11.48	21.33
			実績	11.48	21.33	0.00
3	水使用量の削減	m ³	目標	301	294	264
			実績	294	264	498
4	非鉄屑の選別加工量の向上	kg	目標	25,615	25,311	36,000
			実績	25,811	36,000	102,806

二酸化炭素排出量の削減



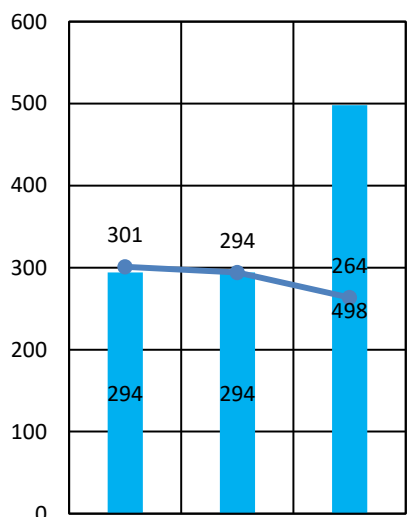
単位: kg-CO₂ ■ 実績 ● 目標

廃棄物排出量の削減



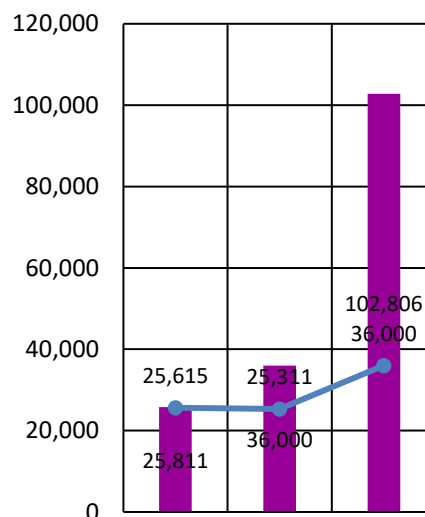
単位: t ■ 実績 ● 目標

水使用量の削減



単位: m³ ■ 実績 ● 目標

非鉄屑の選別加工量の向上



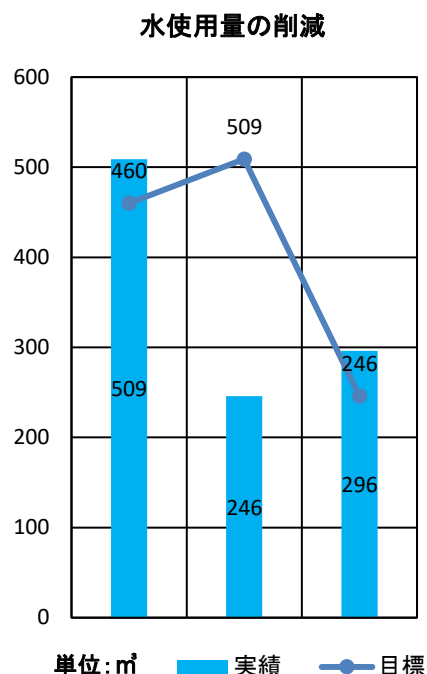
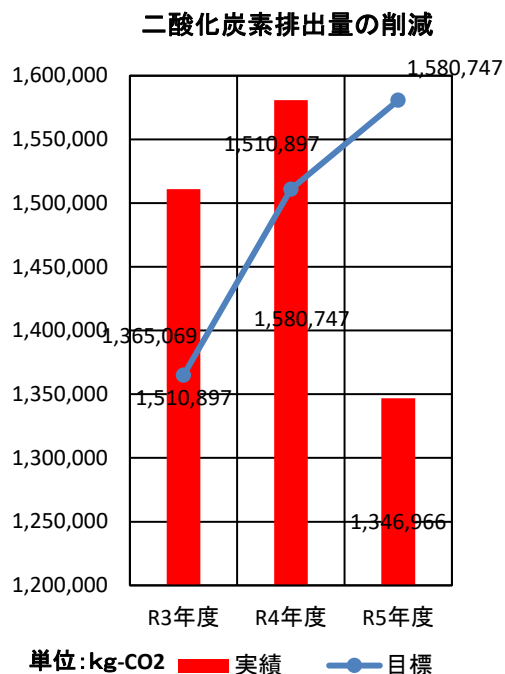
単位: kg ■ 実績 ● 目標

【運輸部】

		単位		R3年度	R4年度	R5年度
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	目標	1,365,069	1,510,897	1,580,747
			実績	1,510,897	1,580,747	1,346,966
2	水使用量の削減	m ³	目標	460	509	246
			実績	509	246	296

・運輸部は25年度より活動を開始しています。

※電力の排出系数は、九州電力2022年度 調整後排出係数値 0.475kg-CO₂/kWh にて算出しています。



4. 主要な環境活動計画の内容

1	二酸化炭素排出量の削減	電気使用量の削減	・エアコン設定を決め、実行する ・工場内未使用電力の停止
		車両燃料使用量の削減	・アイドリングストップを実行する ・エコドライブの徹底 ・重機作業の効率化・燃費削減の為の実績把握と調査 ・高効率な配車の徹底(帰りにこの確保、ルート最適化)
2	廃棄物排出量の削減		・分別処理の徹底
3	水使用量の削減		・節水活動の推進
5	非鉄屑の選別加工量の向上		・仕入品の分解・加工の判断 ・選別の徹底 (異種金属の混入厳禁)

5. 環境活動の取組結果の評価と並びに次年度の環境目標及び環境計画

(1) 目標と実績

二酸化炭素排出量の合計： 1, 448, 038 kg-CO₂

【 本社地区 】			令和5年度目標・実績		達成率
		単 位	目 標	実 績	
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	76, 982	101, 072	76. 2%
	電 力	kWh	36, 367	71, 326	51. 0%
	軽 油	ℓ	21, 336	23, 553	90. 6%
	ガソリン	ℓ	386	828	46. 6%
	LPG	kg	1, 355	1, 020	132. 8%
2	廃棄物排出量の削減	t	21. 33	0. 00	100. 0%
3	水使用量の削減	m ³	264	498	52. 9%
4	非鉄屑の選別加工量の向上 (年5%以上の向上)	kg	36, 000	102, 806	285. 6%

【 運輸部 】			令和5年度目標・実績		達成率
		単 位	目 標	実 績	
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	1, 580, 747	1, 346, 966	117. 4%
	電 力	kWh	18, 939	18, 362	103. 1%
	軽 油	ℓ	608, 455	518, 673	117. 3%
	ガソリン	ℓ	992	17	5834. 5%
2	水使用量の削減	m ³	246	296	83. 1%

※化学物質は取り扱っていません。

(2) 次年度以降の目標

R6年度以降の目標値

【本社地区】

	年間総量		6年度	7年度	8年度
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂ /t	29.65	29.35	29.06
2	廃棄物排出量の削減	t	21.12	20.91	20.70
3	水使用量の削減	m ³	493	488	483
4	非鉄屑の選別加工量の向上 (年5%以上の向上)	kg	107,946	113,344	119,011

- ・原単位はkg-CO₂/取扱数量(t)にて算出しています。 ※R5年度取扱数量=3,375t
- ・R5年度の実績を基準値として、各年度1%を削減とします。但し、廃棄物はR4年度の実績を基準値とする。

【運輸部】

	年間総量		6年度	7年度	8年度
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂ /t	8.66	8.58	8.49
2	水使用量の削減	m ³	293	290	287

- ・原単位はkg-CO₂/取扱数量(t)にて算出しています。 ※R5年度取扱数量=153,930t
- ・R5年度の実績を基準値として、基準年度から毎年1%を削減します。
- ・電力の排出系数は、九州電力2022年度 調整後排出係数値 0.475kg-CO₂/kWhにて算出しています。
(九州電力 企業・IR情報 2022年度のCO₂排出係数について)

(3) 評価及び次年度の環境計画

本社地区において 昨年までは【総務部・自動車整備部】と【金属部】の構成で実施していましたが自動車整備部の廃止に伴い、総務部と金属部を合わせて【本社地区】と構成を変更いたしました。

【二酸化炭素排出量の削減】

運輸部において昨年は輸送量の減少に伴い燃料等の使用量が減少しています。
本社地区の金属部においては昨年に比べ原材料の引取り数量も増加しており選別加工時に使用する電力の使用量が増加しています。
次年度は本社地区の電力等の削減対策を強化し、省エネ活動を推進していきます。

【廃棄物排出量の削減】

本社地区の金属部では昨年は取扱原材料の配分が異なり減少しています。
産業廃棄物は一定量保管して排出するようにし、R5年度は排出は致しませんでした。
廃棄物の分別の取組を徹底的に行い削減されていると評価しています。
次年度も分別を徹底し、削減活動を推進します。

【水使用量の削減】

本社地区においては昨年に比べ選別加工時等に使用する為、増加しています。
次年度は節水活動に努め、削減活動を推進します。

【非鉄屑の選別加工量の向上】

次年度は入庫促進を強化し、目標を達成できるよう普及促進に努めます。

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認 及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法律等の名称	違反状況
廃棄物処理(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	問題なし
消防法	問題なし
騒音規制法	問題なし
道路運送車両法	問題なし
フロン排出抑制法	問題なし

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
また、関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟はありませんでした。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果・指示

本社地区の金属部門では、非鉄屑の選別加工量も昨年に比べ取扱量も増加しています
次年度以降も徹底して分別処理への取組を進めていきます。

二酸化炭素排出量の増加について本社地区は選別処理の増加に伴い電力の使用量が
増加しましたので未達成となっております。

稼働効率に留意し、環境負荷低減への取組みを推進して行きます。

運輸部門は、輸送量の減少に伴い軽油等の燃料使用量が減少しています。

次年度以降は輸送量を増やしながら二酸化炭素の排出を抑えるため、経営の出来る範囲で、
運送部門の車両を低排出ガス車両等への代替を推進し、目標達成に向けて取り組んで行きます。